国際ロータリー第2620地区　藤枝ロータリークラブ　会報　2005年 5月25日(水)　ＮＯ.41

FUJIEDA ROTARY CLUB
Weekly Bulletin

例会：毎週水曜日 小杉苑 藤枝市青木2-2-48 TEL 054-641-3321
事務局:藤枝市青木1-9-16 TEL 054-647-2300 FAX 054-647-2040

野に咲くマーガレット
［写真提供 ： 青島克郎君］

会長：柳原寿男　副会長：鈴木廣利
幹事：宮川邦光　副幹事：松葉隆夫

CELEBRATE ROTARY 100 Years

2004-2005年度
RIテーマ
ロータリーを祝おう
１００年の歩み
グレンE.エステス・シニア

第1623回

<ソング> 我等の生業
<ソングリーダー> 望月 俊昭君

会長挨拶　　柳原 寿男君

本日は５月最後の例会日であります。私共の任期も残り１ヶ月となりました。

ロータリーの良さは任期が１年であり、１年間で替わることで新鮮味があり、面白さがあるのだと言われます。しかし形の上では１年であっても継続を求められる事業も多く、単年で終るようでも、検討すれば次年度へと関連するものがあります。８月末に来日予定の青少年交換学生グラネロ君の受け入れ先についても、今後たびたび話し合うことになりましょう。

話題が変わります。ロータリーの友５月号に「人体復活－１００歳長寿への道」と題して日本老年医学会認定老年病専門医の福田正臣先生の話が載っております。その中で長生きの秘訣の例として、

その１。山奥に住む１００才のおばあさんをたまたま取材で訪れた時、畑で落花生を掘っておられた。診察のため自宅に戻られたが、少し待っている間にお化粧をしてこられた。年をとっても女のたしなみを忘れない姿に、色っぽささえ感じさせられた。

その２。１０３才で亡くなられた女の方が、１０１才まで音楽会や絵の展覧会や講演会に出かけられ、常に新しいものを知りたいという知識欲に燃えていた話。ぜひお読み下さい。

老化現象を食い止める方法として、１例目のように、長年続けて来た畑仕事など体を適度に動かすこと、見だしなみに気を遣う気持ちを持ち続けること、２例目のように積極的に知りたい、見たい、聞きたいという欲求をもつことも良い刺激となって、老いてからの健康に役立っている事実を改めて知ることが出来ました。

さて私共の年になって今更、言葉の分からない、生活習慣の違う国に出かけて苦労することもないと思いますが、交換学生のグラネロ君と月に１度ぐらい夕食を共にしたり、１泊の小旅行をすることで、新たな体験が自分自身への適度な刺激になるかも知れないと考えてみるのは如何でしょうか。

幹事報告　　宮川 邦光君

- 財団法人米山梅吉記念館内藤理事長より創立３５周年記念誌が届いております。
- 静岡、静岡北、静岡西の各クラブより会報が届いております。
- 藤枝子どもと本をつなぐ会よりお礼状が届いております。

出席報告　　松葉 隆夫君

本日のホームクラブ 出　席　者	前回の補正出席者
29／41　70.73%	32／41　78.05%

(1)欠席者（事前連絡とメークアップをどうぞ）
○小宮君　○杉山君　○成瀬君　○村松宏君
石垣君　浅川君　板倉君　鈴木晶君　鈴木舜君
仲田晃君　村松英君　望月志君
(2)メークアップ者
岩田 規君（焼津）　　水野 義猛君（藤枝南）
宮崎 啓之進君（藤枝南）　望月 俊昭君（藤枝南）

栗原 毅君（藤枝南）　　増田 國衛君（藤枝南）
村松 宏一君（静岡南）　杉山 静一君（静岡南）

ビジター

曽根 勝美君（焼津南）

スマイル BOX　　松葉 隆夫君

- 誕生日プレゼントありがとうございました。女房から携帯電話のメールに「誕生日おめでとう」の一言だけ入っていました。寂しいもんですね。改めて冷え切った夫婦仲を実感しました。

前島 章男君

- 孫娘が医師国家試験に合格し医師の卵として、順天堂病院に勤務する様になりました。

江﨑 友次郎君

スマイル累計額　　６４９，３００円

会員卓話　　竹田 勲君

『歴史教科書について少し考えさせられました』

戦後６０年の今中国で大規模な反日デモの発生を見るにつけても、一体いつまで戦後処理問題を引きずっていかなければならないかと疑問を抱かずにはいられません。

そんな時、神社関係の大会に参加しました。その時の資料に、大人が知らない「こどもの教科書」がありました。（新しい歴史教科書をつくる会発行）その中の１頁に、歴史は“こころの栄養素”なる次のような文章がありました。

「日本がきらいになった」、「日本人に生れてはずかしい」このような言葉が、学校で歴史の勉強をした子供たちの口から聞かれます。「おじいちゃんたちは人殺しだ」という子供もいます。

学校で歴史の勉強をすると、自分の国を尊敬することができなくなり、自分のおじいちゃんたちを好きになることができなくなってしまうのです。

日本の過去は真っ暗で、日本人はいつまでも周りの国に対して謝り続けなければならない―戦後の日本では、そういった歴史教育が行われてきました。これでは健全な子供が育つはずがありません。「自分を大事にすることができない」こんな中学生、高校生が増えているという調査結果もありました。

自尊心がないから援助交際をはじめとする非行や自殺など、自分を傷つける行為も簡単にできてしまうというのです。

「日本に生まれてよかった」「日本人であることを誇らしく思えるようになった」このような心を子供たちに持ってほしいと思いませんか？

歴史は“こころの栄養素”歴史の悪い面を強調するだけでは、からだに毒なのです。

子供の読む歴史教科書には何が書いてあるのでしょうか。そこにはどんな問題が潜んでいるのでしょうか。そのことを多くの大人たちに知っていただきたいと考えています。

現在中学校で使われている歴史教科書の出版社は次の８社です。

①東京書籍　②大阪書籍　③教育出版　④帝国書院　⑤日本文教出版　⑥清水書院　⑦日本書籍新社　⑧扶桑社（平成１４年～平成１７年度使用版）

藤枝市は教育出版の教科書を使用していると思われる。

記念講演は「誇りある正しい歴史教育を子供たちに」と題して行われました。

その話で感じたことは、わたしたち大人も子供や孫たちがどんな教科書で勉強しているかたまには感心を持ってやらなければならないことを強く感じさせられました。

◆お知らせ◆

藤枝市民吹奏楽団

Ｃｈａｒｍｉｎｇ　Ｂｒａｓｓ

『第２５回　定期演奏会』

日　時　６月１９日（日）
　　　　１３；３０開場　１４：００開園
場　所　大井川町文化会館　ミュージコ

（担当／青島克）